

1. 土づくり

堆肥や緑肥による土づくりを行う

2. 施肥 ☆施肥診断にもとづく施肥量の遵守

	肥料名	施肥量	
基肥	人参ブリケット 688 ※1	6-10-4(苦土1%有機態窒素 1.9%)	180 kg/10a 以下
	エコレット 808 ※1	8-10-8 (有機態窒素 1.5%)	110kg/10a 以下
	苦土重焼燐	0-35-0 (苦土 4.5%)	40 kg/10a
	苦土石灰 (粒)	苦土 10% アルカリ 55%	80 kg/10a

(※1 はいずれかを選択 化学肥料由来の窒素は 7.5kg/10a 以下)

3. 防除 **※秋冬にんじんの防除は8成分まで。(※2は1~2剤を選択、※3はいずれかを選択)**

(但し、ポリオキシシ AL水和剤、ゼンターリ顆粒水和剤は防除回数に含まない。)

月	管理作業	病害虫の発生推移	薬剤名 (成分数)	希釈倍数・処理量	使用時期	対象病害虫	備考 (耕種的防除の実施等)	
7月上旬	播種	センチュウ類・ネキリムシ アゲハ・ハスモンヨトウ 黒斑病・黒葉枯れ病	D-D (1) ※2	200/10a	播種 10~15 日前まで	センチュウ類 コバネ類幼虫	施用した粒剤の防除効果をもとめ、均一に散布し、丁寧に土壌混和する。 しみ腐病回避の為水はけのよい圃場づくりを行う。 線虫の発生が多い場合は線虫拮抗作物・緑肥を作付ける。	
			ネマトリンエース粒剤 (1) ※2	20kg/10a	播種前			
			バイデート L 粒剤 (1) ※2	20~50kg/10a	播種前			
8月上旬	中耕		クレマート U 粒剤 (1) ※3	4~6kg/10a	播種後 発芽前	畑地一年生雑草		
			トレファノサイド乳剤 (1) ※3	200 ~ 300ml /10a	播種直後			
9月上旬	中耕							
			ゼンターリ 顆粒水和剤 (0)	1000 倍	発生初期 但し、収穫前日まで	オタバコハスモンヨトウ シロイモジヨトウ		
			バルクート水和剤 (1)	500~1000 倍	収穫 14 日前まで	黒葉枯病		
ポリオキシシ AL水和剤 (0)	500 倍		収穫 7 日前まで					
10月上旬	収穫							
11月上旬	出荷							
12月~3月	出荷							

☆みんなで守ろう生産基準